

5・6年生から

『日本のことばずかん そら』(814ソ)

神永 暁(かみなが さとる)/監修(かんしゅう)、
講談社



「そら」と聞いて、思いつくことばは何ですか？
この本は、「そら」にかんする日本語のさまざまなことばを、写真や和歌などを使ってしょうかいしています。古くからつたわることばは、知らなくても困(こま)らないかもしれない。でも、知っているとう心が豊(ゆた)かになる。そんな気持ちにさせてくれます。

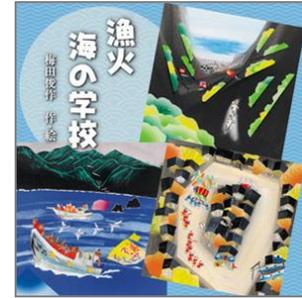
ここから、新しい「そら」に出会ってみませんか？



『漁火(いさりび) 海の学校』(913ウ)

梅田 俊作(しゅんさく)/作・絵、ポプラ社

100人ほどの人が住む、漁火(いさりび)村。そこに家族みんなで移住(いじゅう)してきたナツミは、村の分校に通うことになりました。海とともに生きていくよろこびや、天気や自然とともに生きていく知恵(ちえ)を学んでいくうちに、ナツミの心に、うれしいものが広がっていくのでした。あなたも、ナツミたちといっしょに海の学校をのぞいてみませんか？



3月						
日曜	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						
お休み	※毎週月曜日、桶川・川田谷図書館はお休みです。 桶川図書館 (TEL 771-0303) 川田谷図書館 (TEL 786-8846)					
おはなし会	桶川図書館 毎週土曜日 午前10時30分~11時					
	坂田図書館 (TEL 783-2150) 毎週土曜日 午前11時~11時30分					
	中央図書館 (TEL 786-6353) 毎週土曜日 午後3時~3時30分					

★「もりのくまさん」についてのお知らせ
今月の『もりのくまさん』は小学生向きです。

No. 391



もりのくまさん

おけがわしとしゃかん

2024年3月1日発行 桶川市図書館

☆今月の特集(こんげつのとくしゅう)☆

3月23日は、
世界(せかい)気象(きしょう)デー
です。

今月は、いろいろな「天気」の本を紹介(しょうかい)します。



かみなりの ひみつ

『かみなり』(451カ)

妹尾 堅一郎(せのお けんいちろう)/監修
(かんしゅう)、音羽電機工業(おとわでんき
こうぎょう)「雷写真(かみなりしゃしん)コンテスト」
/協力(きょうりょく)、ポプラ社

ピカッ! ゴロゴロ……。
まぶしく ひかって、
おおきな おとを
とどろかせる かみなり。
なつに おおい

かみなりですが、ふゆにも
かみなりがたくさん おこる ちいきも あります。

むかしの ひとは、かみなりは、その かみさまが
ならずものと かんがえて、おそれ、うやまって
きました。

かみなりの しょうたいって なに? かみなりは
どうやって おこるの? かみなりの ひみつに、
せまってみましょう。

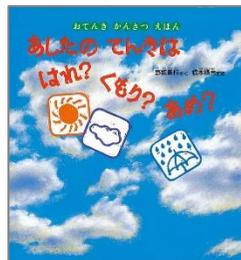


1・2年生(ねんせい)から

『あしたの てんきは はれ? くもり? あめ?』
(Eア)

野坂 勇作(のさか ゆうさく)/さく、
根本 順吉(ねもと じゅんきち)/監修
(かんしゅう)、福音館書店

あしたの てんきを しりたい
なら、そらや おひさま、
くもや かぜなどの ようすを
よく かんさつすることです。
ゆうやけが きれいなら?
おひさまが かさを かぶったら?
とおくの おとが ちかくに きこえたら?
この本(ほん)を よんだら、きみも おてんき
はかせだよ!



さあ! そらを よく みてごらん。あしたの
てんきは、はれ? くもり? あめ?

『あめあめ ふれふれ もっとふれ』(933モ)

シャーリー・モーガン/文、
エドワード・アーディゾーニ/絵(え)、
なががわ ちひろ/訳(やく)、のら書店

あめが 三日も ふりつづいて
います。おとこのこと
おんなのこが、まどから そとを
みえています。ほかの人や
どうぶつたち、お花たちが
あめのなか あそんでいるのが、
うらやましいようです。あめが
よわくなって、ふたりは レインコートを きて、
かさを さして、ながぐつを はいて、そとに
でかけました。これで あめのなか あそべる!



さて、ふたりは どんなあそびを したのでしょね。

3・4年生から

『ウォンバット 雨の日のぼうけん』(933パ)
ルース・パーク/作、ノエラ・ヤング/絵、
加島 葵(かしま あおい)/訳(やく)、朔北社

雨がふると、ウォンバットは、
外でどろんこ遊(あそ)びが
したくてたまらなくなります。
でも、友だちはだれもゆるして
くれません。仕方(しかた)なく
部屋(へや)で遊(あそ)びますが、
なにをやっても失敗(しっぱい)
ばかりで、ぜんぜん楽しく
ありませんでした。



そんなとき、ウォンバットたちのもとに、
あるプレゼントが とどきます。それは、雨の日に
外でつかうのにピッタリなもので……。

『カバテツのことわざ研究(けんきゅう) I

天気よほうはことわざで』(388カI)

山下 明生(はるお)/作、小山 友子(ともこ)/絵、
あかね書房

カバテツは、りっぱなカバに
なるために、まじめに考えごと
(テツガク)をしています。
カバのテツガクから、カバの
ことわざがたくさん生まれます。
ことわざとは、みんながなるほどと
感心(かんしん)して使(つか)う
ようになったことばのこと。

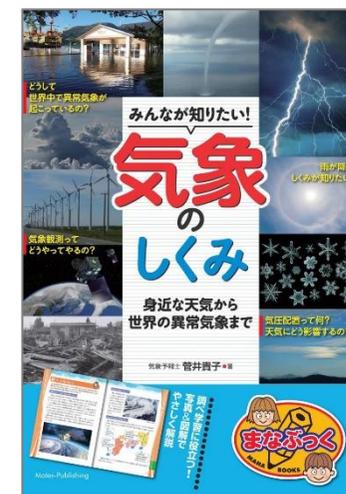


たとえば、「待(ま)てばカバの日(ひ)和(ひより)あり」。
わたしたちのことわざにも、にているものがあります。
おはなしの間にある「ことわざ案内(あんない)」を
読んで、たしかめてみてください。

5・6年生から

『みんなが知りたい! 気象(きしょう)のしくみ』
(451ミ)

菅井 貴子(すがい たかこ)/著(ちよ)、
メイツ出版



テレビやインターネットで一週間先まで天気が
わかるのはなぜか、知っていますか? 気象を
さまざまな方法で観測(かんそく)することで、より
正確(せいかく)な天気予報(よほう)ができるのです。

雲や雨のしくみ、気象観測はどうやっているのか
など、身近な天気から、世界の異常(いじょう)気象
までがわかる一冊(さつ)です。

